



実践的見積り手法

この1日間のコースでは、下記の内容を学習します。

- 様々なIT見積り方法の強みや弱みを理解する
- 見積り、プロジェクトスケジュール作成、ビジネスゴールの関係を理解する
- 組織内で見積り手法の実装を計画する

ケーススタディを通して複数の見積り手法を体験していただきますので、今後実際に見積りを実施する場に備えて実践的な知識を身につけることができます。

■ コースの目的

このコースでは、次のことを学びます。

- 現行の見積り方法を認識する
- 選択した技法の実装方法を選定、計画する
- 開発ライフサイクルを通して、どのように見積りが継続されるかを理解する

■ コースの成果

コースに参加すると、下記の効果が得られます。

- 個々の組織に合わせて見積り技法をテラリングし改良する
- ITプロジェクトの見積りに関するリスクを理解し、管理する
- 比較評価のためのデータ収集を開始する

■ コース形式

演習をはさみながらプレゼンテーションを行います。コース教材は、プレゼンテーション資料、その他追加資料になります。

■ 対象者

- プロジェクトマネージャおよびチームリーダー
- プロジェクトの検討準備に参加する開発要員
- 成果物の計画責任を担うマネージャ

■ コース内容

見積りの基礎知識

- 見積りとは
- 過少見積りの性質
- 現行の見積り技法

見積りとライフサイクルプロセス

- 作業および成果物の細分化構造
- 見積りの精度
- 見積りの計画
- ライフサイクルの選択肢

簡潔な手法と体系化された手法

- 類推法
- 統計的手法
- デルファイ法
- 第4世代言語の影響

コード測定による方法

- 3種類のCOCOMOプロジェクト
- プロジェクトドライバ
- 方程式の適用

ファンクションポイント

- ファンクションポイントの基礎知識
- 技術要因
- ER(エンティティ・リレーション)とファンクションポイント
- リアルタイムとファンクションポイント

コストおよびリスクの管理

- 比較評価
- 見積りのための測定
- コストの追跡